

1年間の小牧市への人事交流を終え、八雲町に戻って参りました財務課の鈴木です。短い間ではありましたが、1年間、小牧市職員として小牧市の観光やイベントの仕事に携わってきました。

八雲町役場に入庁して3年目で、小牧市への派遣ということ、昨年の春には大きな不安を抱えて小牧市へ行きました。色々な方に支えられ1年間楽しく元氣よく仕事をすることができました。また、観光分野の仕事だったので、地域の方や地元団体の方、さまざまな人と関わりを持つことができました。

人事交流に行っていないければ、このような関係を持つことはできなかつたですし、自分の中で大きな財産となりました。これからは、八雲町職員として小牧市での1年間の経験をこれからの業務に活かしていきたいと考えております。

また、若いうちにこのような経験をさせていただいたことにも、感謝しています。

八雲町と小牧市の交流についてですが、児童交流は今後も続きますが、八雲の山車行列を手

本としたお祭り「小牧平成夏まつり」は平成30年度をもって今の形に終止符を打ち、職員間の人事交流は一時中断します。小牧市に行つて、わかりませんが、児童交流の縁など、何年も八雲町の方との付き合いがあったり、地域団体などの交流で「八雲を知っている」「良いところだ!」と言つてくださる方がたくさんいらつしやいました。

愛知県と北海道という離れた場所でこういう絆があるということはとても素晴らしいことだと思います。今後も八雲町と小牧市の交流を盛り上げ、お互い友好都市として誇りに思える市町になつていくよう、私は架け橋として頑張つていきたいと思



愛知県小牧市・八雲町誌面交流



えーがね! (いいね) こまき

vol. 11

「北海道の暮らしにそこが、全く違う環境に飛び込んでみたい」という自らの希望から、貴重な2年間を送ることができました。

所属していた商工観光政課では、北海道新幹線開業&パノラマパーク10周年記念事業や観光パンフレット更新業務、北海道カレーサミット&花火大会など八雲町を盛り上げる大きな事業に携わらせていただきました。

観光客の誘客を図るための必要性、八雲町にとっての課題が分かつた中で、自分の住んでいる町に愛着をもち、商工業事業者の方たちだけではなく、農業者漁業者の方々と共に地域経済の活性化を目指す点にやりがいを感じました。

また、役場・まちの皆さまの計らいで町内イベントの多くに参加したり、春はみみづりホタテ養殖体験や山菜採り、冬はスノーモービル乗車体験をさせていただいたり、派遣で来なければできない醍醐味をたくさん味わい、充実した日々を過ごすことができました。小牧市役所に帰任後も、八雲町役場で学ん

だ手法を活かしていくとともに、山、海、川、温泉、おいしい食べ物など自然豊かな資源と尾張徳川家開拓の歴史がある八雲町の魅力を発信し、より多くの小牧市民に八雲町へ来てもらうなど交流が深められる活動ができればと思います。今までお世話になった八雲町の皆さまへ感謝します。ありがとうございました。

